



まつがおか

千葉市立松ヶ丘小学校

春、子どもたちのさらなる成長を期待します。

校長 吉田 英明

昨年よりも2週間も早く春一番が吹き、気温も20度を上回ったり、大量の花粉が飛散したりというニュースが入ったかと思えば、凍えるように寒い日があったりと、三寒四温を繰り返しながら春を迎えようとしています。春=SPRING。思わず飛び跳ねたくなるような、わくわくする季節がもうすぐやってきます。今、学校では、1年のまとめ、進級進学に向けての準備を進めています。

2月22日(木)に行われた「6年生を送る会」では、4年ぶりに全校が体育館に集うことができました。「6年生を送る会」を企画・運営する5年生が考えたスローガンは「とどけ、ありがとうの想い ～新たな一步を～」です。1～5年生は6年生に、6年生は1～5年生に「ありがとうの想い」を届けるために一生懸命に練習に取り組んできました。

1年生は学級閉鎖があり、なかなか練習ができませんでした。でも、最後の週での集中力が素晴らしく、お世話になった6年生にありがとうの拍手を送ることができました。2年生は、「YUME 日和」の曲に合わせて、運動会、ゆりのき活動、球技大会で頑張る6年生の様子を替え歌にして歌いました。6年生の幸せを願い素敵な歌声を聞かせてくれました。3年生は、6年生クイズ。好きな給食から一番の思い出までを3択クイズにして出題しました。4人の魔法使いが登場して、さらに場を盛り上げました。4年生は、まず6年生の過去の映像を流しました。そこには、まだかわいい?6年生がいて、6年生は大さわざ。「あっ、ぼくだ。」「はずい! (はずかしい)」などの声が上がりました。その時の6年生と同じ「茶いろの小びん」の演奏とダンス、とてもよかったです。5年生は、「リフティング」「大声」「重ね着」で勝負を挑み、6年生の強さ?に跳ね返されました。会場は応援と笑いに包まれました。5年生はこの発表だけでなく、司会・進行・楽器の移動など様々な仕事を頑張りました。

そして6年生。全校にありがとうの想いを伝えるために「アイドル」をボディーパーカッションで、そして「彼こそが海賊」を合奏で表現しました。息があっていて、とても素晴らしい発表でした。一人一人が大きく見えました。最高でした。

お互いを目の前にして、一生懸命に発表し、ありがとうの想いを届ける。やはり、全校が集っての送る会はいいです。お互いが成長しあえる場だと感じました。

令和5年度も残り1か月となりました。子どもたちのさらなる成長を期待して、職員一同取り組んでいきたいと思っております。この一年間、皆様からの多大なるご支援とご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。